

「旅システム」余市サクランボ狩りの小旅行

2020・7・4(土)



札幌駅北口「鐘の広場」は午前 8 時ともなるといつも旅行会社のデスクが一杯並び旅行客で混雑するのですが、今日 7 月 4 日(土)は「旅システム」の独り占めとなりました。余市サクランボ狩り企画の旅には応募 25 名、旅システム添乗、北川さんと青木さん 2 名、そして札幌観光バスの運転手鈴木さんが乗務され合計 28 名

北星学園余市高等学校



の旅となりました。検温も済ませ、座席も間隔を開け 8 時 50 分頃予定通り余市に向け出発致しました。高速道路に乗り 2978m も有る天狗山トンネルも抜け約 1 時間少々で余市の街に入りました。本日、北星余市高校校長平野純生さんの講演があり、又添乗の北川さん



も実は同高校の元理事をお努めだったというアナウンスが有り、余市教会へと向かいました。教会では既に平野校長と西岡知洋牧師が待機されていたり、お二人からそれぞれ 30 分程ずつお話が有りました。平野校長からは北星余市高校の歴史の経過や現状の課題や取り組み、西岡牧師からは教会の歴史やニッカウキスキー創業者竹鶴政孝氏やリタさんとの関係など話され、実は平野校長と西岡牧師とは北星余市高校で 2001 年、アメリカで同時多発テロが発生した年に生徒と先生の関係として巡り会ったそうです。縁は異なるものです。教会を後にして次は松田農園へ昼のジンギツカン会食交流とサクランボ狩りの時間となりました。サクランボは枝もたわわにぶら下って、採り放題、食べ放題です。お昼のジンギツカンもさることながらアイランドスタッフ手作りおにぎりが最高。たくさんさんの無農薬野菜を買い求め午後 3 時頃、松田農園の皆様にご挨拶をしてお別れ致しました。最後に柿崎商店を訪れ、お目当ての海産物を少々買い求め 4 時前に札幌北口に向けて帰路となりました。

余市教会とリタ幼稚園

2020・7・4(土)

「余市」と言えば先ずは果樹園やニッカである。更に通な人はニシン漁場の史跡もたくさん有る事を知っていると思います。そして更に通な人は「余市教会」や「リタ幼稚園」、そして北星余市高校との繋がりを知っているという事でしょうか。余市や小樽は良い街です。もうひと掘りたい！



「恋人よ、たとえ海が枯れても、たとえ岩が太陽の炎に溶けても、それでも私はあなたを愛します。命の時計が砂を刻むかぎり」

大正8(1919)年、フランスから帰った竹鶴政孝さんがお土産として贈った香水のお返しに、リタが送った詩集の一節です。今から100年前の夫婦のやり取りです。



60歳になった頃からリタさんは病気がちになりました。昭和31年(1956)年から札幌、小樽、東京と入退院を繰り返します。同32年は秋まで山田町の自宅で過ごし、翌年は鎌倉で静養しました。同34年は3年振りに山田町の自宅でクリスマスとお正月を過ごすことが出来ましたが、リタさんの身体は日に日に弱っていきました。翌年のクリスマスも自宅で迎えることは出来たものの、病床での事でした。竹鶴威(たけし)によると「ある雪の日

でした。うちの庭から讃美歌が聞こえてくるんです。出てみると余市の教会の人達が歌ってくれていました。『何事でしょう?』と聞くと『リタさんお加減が悪いと聞いたのでお見舞いに』というのです。…後略」とあります(『琥珀色の夢を見る』)

余市教会では、この年のクリスマスイブに町内をローソクを持って讃美歌を歌いながら歩く「キャロリング」を企画、大川町にあった教会から梅川町、沢町などを巡って山田町の竹鶴邸に信者の人達が到着しました(『日本キリスト教会余市教会130年記念誌』)

「竹鶴さんの家では玄関の前でなく、寝室の近い方の窓の下で歌う事になりました。青年会の人々が雪を踏み固めて場所を作り、婦人会の人もそこに行って一生懸命歌いました」(前掲書)

皆の願いもむなしく、リタさんは、昭和36(1961)年1月17日眠る様に旅立ちました。65歳でした。

昭和10年に余市に降り立ってから26年間の北海道での暮らしは、故郷スコットランドに似た自然に触れられた日々でしたが、同時に冬の寒さが厳しくも有りました。「亡くなってから二日間、政孝親父は自分の部屋に閉じ籠もりきりで、出てこない。葬式の準備を進めなければならないのに、一歩も出ようとしません。(竹鶴威さん)」(『琥珀色の夢を見る』) リタさんが亡くなった日の朝、息子の威さんとニッカウキスキーの工場長が葬儀のお願いに余市教会を訪れました。

着任して日も浅かった吉岡牧師は「クリスチャンであったリタさんの葬儀を通して地域の方々や葬儀に参列した方々に、キリスト教を知ってもらうチャンスを与えて頂いただけで充分」と考えて謝礼をお断りしました。何かの形で感謝の気持ちをお伝えしたいと考えた竹鶴家では「吉岡牧師が願っていることを応援しよう」という事になり、新しい教会と幼稚園の建設費用として、リタさんの遺産と合わせて120万円の寄付を教会へ寄せました。竹鶴さんとリタさんのお墓はニッカウキスキーを見下ろす丘に有ります。2020・7・4(土)余市の旅で100年前の余市に繋がった思いがします。